

## 第4回神戸市都市デザイン賞

神戸市では「デザイン都市・神戸」を推進する一環として、神戸らしい景観やまちなみをまもり、つくり、そだてる取り組みをすすめています。

その取り組みの1つとして「神戸市都市デザイン賞」を開催し、神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物などを表彰し、市内外に広く発信します。

第4回神戸市都市デザイン賞には、

**【建築デザイン部門】・【ストック再生部門】・【木のぬくもり建築部門】**

の3部門を設けました。

### ■募集期間

2022年7月18日(月)～9月16日(金)

### ■選考委員会

1次選考：2022年10月27日(木)

現地見学：2022年11月21日(月)

最終選考：2022年12月8日(木)

### ■選考のポイント

#### 【建築デザイン部門】

：海と山と坂の変化に富んだ明るく開放的なまち・神戸の地域文化を育む優れた建築を表彰することによって、市民に親しまれ、市民の誇りとなる建築文化を高めていこうとするものです。

#### 【ストック再生部門】

：長年、神戸市民に親しまれてきた歴史的建築物や空き家・空き店舗等を再生・リノベーションすることで新たな価値を生み出し、地域の活性化に寄与しているものを表彰するものです。

#### 【木のぬくもり建築部門】

：循環型社会の実現に寄与するとともに、先進性があり市民に健康的でぬくもりのある快適な空間を提供するなど、建築物における木材利用を促進し、その可能性を追及するものを表彰するものです。

### ■表彰式・受賞記念シンポジウム

日時：2023年2月4日(土)13：30～

会場：神戸市立博物館「講堂」

### ■選考委員（敬称略）

栗山 尚子 神戸大学大学院准教授

金野 千恵 京都工芸繊維大学特任准教授

服部 真俊 兵庫県木材青年クラブ

藤原 徹平 横浜国立大学大学院准教授

宮宅 勇二 兵庫県建築士会会長

主催／神戸市、公益社団法人兵庫県建築士会

協賛／一般財団法人神戸シティ・プロパティ・リサーチ

**KOBE**  
CITY of DESIGN

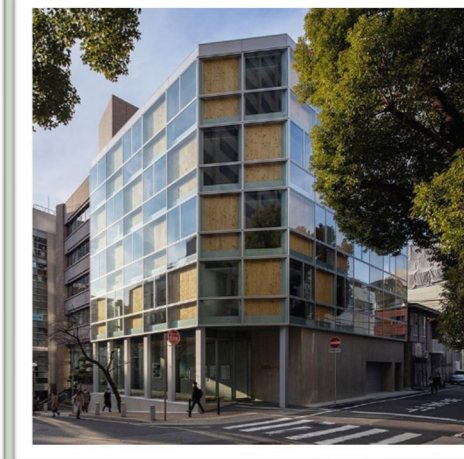
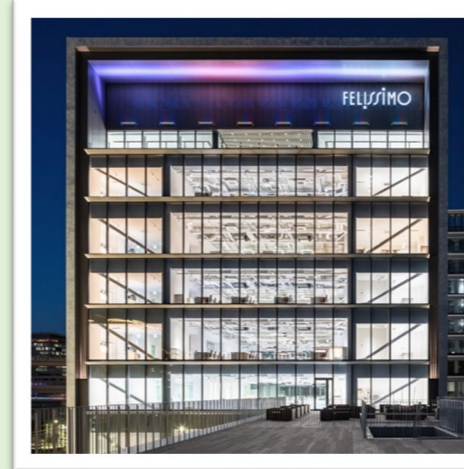
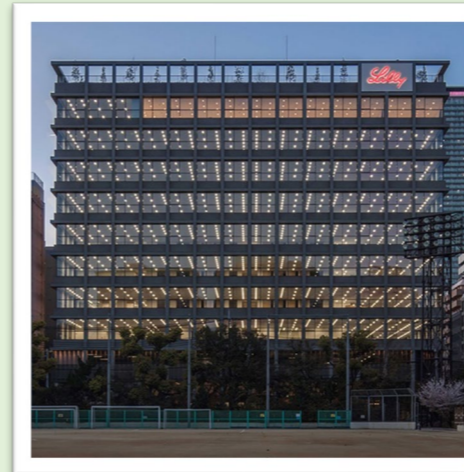


公益社団法人  
兵庫県建築士会  
Hyogo Society of  
Architects & Building  
Engineers



公益社団法人兵庫県建築士会創立70周年記念事業

# 第4回 神戸市都市デザイン賞 受賞作品



【建築デザイン部門】  
【ストック再生部門】  
【木のぬくもり建築部門】



建築デザイン部門【Stage Felissimo】神戸市中央区新港町

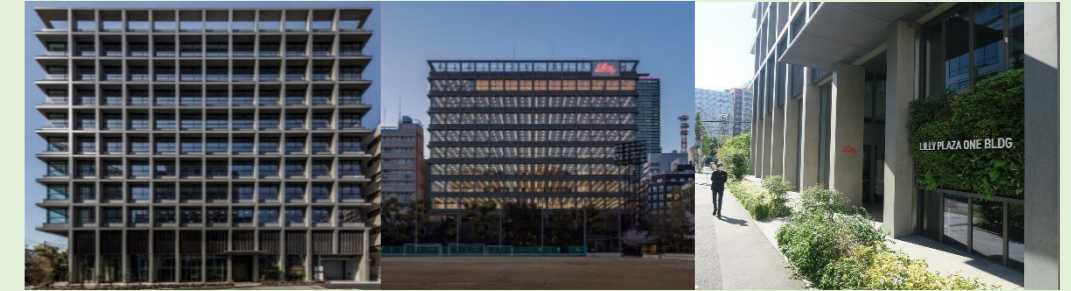
神戸の都心・ウォーターフロント再開発プロジェクトにおける企業の本社ビルである。ゲート状の外観構成、ガラスのファサードにより南の海と北の六甲山をつなぐというコンセプトのもとで、海に面した開放的で豊かな屋外空間がつけられている。また、ホールやミュージアム、レストランなど、市民に開かれた居場所を生み出しており、業務ビルでありながら、多様な機能や空間構成によって臨海部の市民利用拡大をめざしている。ウォーターフロントにおける新たなランドマーク、まちづくりの起点となることが期待される建築物である。



建築主  
：株式会社フェリシモ  
設計者  
：株式会社石本建築事務所  
Eight Inc.  
施工者  
：株式会社銭高組

建築デザイン部門【LILLY PLAZA ONE BLDG.】神戸市中央区磯上通

神戸の都心のオフィス街に建つ外資系企業の日本法人本社ビルである。コンクリートのグリッドフレームとガラスのファサードが特徴的で、特に中景において繊細かつ風格ある表情をみせ、洗練された美しさを創出している。また、歩行者からはエントランスホールや多目的ホールの人の動きが垣間見え、内部空間と外部空間との一体感を感じさせる。また、外周の植栽の豊かさが印象的で、今後の緑の成長によるさらなる景観の向上が期待できる。都心エリアの再整備がすすむ中、大小さまざまな規模の建物が混在する磯上地区にあって、当ビルはひとつのランドマークとして位置づけられよう。



建築主  
：有限会社建隆マネジメント  
日本イーライリリー株式会社  
設計者  
：竹中工務店・昭和設計設計共  
同企業体  
施工者  
：株式会社竹中工務店神戸支店

ストック再生部門【NATURE STUDIO】神戸市兵庫区雪御所町

2015年に閉校となった湊山小学校の跡地を活用した、自然と暮らす地域をつくるための拠点となるコミュニティ型複合施設である。一部の校舎を利活用し、理科室を水族館に、給食室をビール醸造所にするなど、教室等の面影を残しつつ、幅広い世代が利用できる機能をもつ施設に再生している。外装の一部に木材を組合せた「フレームグリッド」を採用し、またデザインされたデッキで棟間をつなぐなど、施設として特徴ある顔を演出するとともに、居心地良い空間を創出している。既存校舎の再活用における様々な制約を克服し、地域住民だけでなく、観光客も呼び込める新たな機能を付加することで、地域の記憶の継承と新たな価値を生み出すストック再生の優れた事例である。



建築主  
：株式会社村上工務店  
設計者  
：株式会社ティーハウス  
建築設計事務所  
施工者  
：株式会社村上工務店

ストック再生部門【学校法人松泉館】神戸市灘区宮山町

神戸市灘区の阪急六甲駅近くに建つ、敷地内に幼稚園が隣接する築100年の近代和風建築物の再生事例である。個人住宅と蔵を改修し、大人の習い事や小学生の放課後活動など地域利用に供するとともに、幼稚園内に歴史ある建物や庭園を残すことにより、園児にとっても豊かな学びの環境を提供している。改修にあたっては、伝統的技法に加え、現代の大工や左官の技術も活かし、新たな価値を生むよう工夫がなされている。利便性の高い駅に近接する場所にあつて、周辺では多くの建物が更新される中、地域住民にとっても親しみ深い建築物として維持され、使い続けられている点が貴重である。

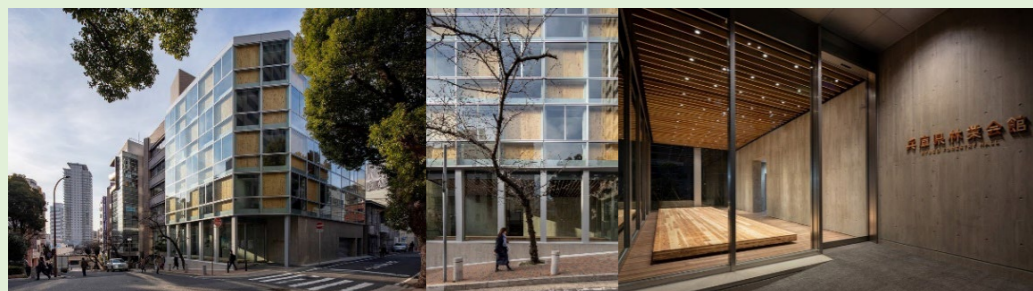


© アトリエK 平野和司

建築主  
：学校法人松泉館  
設計者  
：長尾健建築研究  
所  
施工者  
：株式会社林田工  
務店

木のぬくもり建築部門【兵庫県林業会館】神戸市中央区北長狭通

中央区元町駅の北側に建つ、県内の森林・林業関係団体が入る5階建てのオフィスビルである。脱炭素社会の実現に向け、建築物への木材利用の可能性を広げるため、日本で初めてCLT（直行集成材）耐震壁・床と鉄骨フレームからなるハイブリット構造を採用するなど、耐火建築物の構造材への木材利用について技術的挑戦がなされている。また、そのCLT壁をガラス越しに表すことで、緑あふれるこのエリアの景観に調和しつつ、まことにやわらかな印象を与えるデザインとし、1階は森林や林業関係の情報発信、県・市産材を活用した内装材・家具等の展示コーナーを設け一般開放を行っている。これら技術の先進的な取組と木のぬくもりを身近に感じることができる建築である点が評価できる。



建築主  
：兵庫県森林組合連合会  
一般社団法人兵庫県治山林道協会  
兵庫県木材業協同組合連合会  
兵庫県林業種苗協同組合  
設計者  
：株式会社竹中工務店大阪本店  
施工者  
：竹中工務店・大和ハウス工業  
特定建設工事共同企業体

木のぬくもり建築部門【FARM CIRCUS】神戸市北区大沢町

道の駅「神戸フルーツ・フラワーパーク大沢」に建つ「地産地消を遊ぼう」をコンセプトとした、地元食材の直売や料理等を楽しむことができる施設である。サーカステントを思わせる3つの棟から成り、建物の外壁には県産のスギ材を、テーブル等の什器には六甲山の間伐材を使用するなど、建物内外において地元産の木材をふんだんに使用するとともに、各館ごとに地産地消をうたって多くの人を引きつけ、パーク全体に活力を与えている。木造・木材の特性や背景を活かし、にぎやかさと親しみやすさを感じる施設とするとともに、地産木材の積極的な活用により循環型社会の実現に寄与している点が評価できる。



受賞作品